

## 言語学

- (1) (A) どこにも負けないチーム  
に対して,  
(A') このチームはどこにも負けない  
といえるのに,  
(B) どこにも負けない常勝チーム  
に対して,  
(B') この常勝チームはどこにも負けない  
というに変に感じる。  
この違いの根底にあるのは何であるかを考え、自分の考えを述べなさい。
- (2) 複数の語を成分とする語は複合語と呼ばれるが、ある語が複合語であるかどうかは常に容易に判定できるとは限らない。複合語か否かが問題になるのはどのような場合か。具体例を挙げて説明しなさい。
- (3) 「(硬) 口蓋化」とは何か。共時・通時の両面から説明しなさい。
- (4) 下の3種類の表を見て、それぞれの言語がどのような関係であるか、またいかにしてそれが解るかを詳しく述べなさい。

(A)

	Proto-Algonquian	Yurok	Wiyot
1st person	*ne(t)-	?ne-	d-
2nd person	*ke(t)-	k'e-	kh-
3rd person	*we(t)-	?we-	w-

注：北カリフォルニアの Yurok 語と Wiyot 語は、通常、北米大陸東部から中部にかけて広く分布するアルゴンキン語族には含まれない。また、上の人称接頭辞で、-t- が挿入されるのは母音に先立つ場合。

(B)

	<b>Arabic</b>	<b>Urdu</b>	<b>Turkish</b>	<b>Swahili</b>	<b>Malay</b>
‘news’	xabar	xabar	haber	habari	khabar
‘time’	waqt	vaqt	vakit	wakati	waktu
‘book’	kitāb	kitāb	kitab	kitabu	kitab
‘service’	xidmat	xidmatgārī	hizmet	huduma	khidmat
‘beggar’	faqīr	faqīr	fakir	fakiri	fakir

(C)

<b>Hawaiian</b>		<b>Ancient Greek</b>	
aeto	‘eagle’	aetós	‘eagle’
noonoo	‘thought’	noûs	‘thought’
manao	‘think’	manthánō	‘learn’
mele	‘sing’	mélos	‘melody’
lahui	‘people’	lāós	‘people’
meli	‘honey’	méli	‘honey’
kau	‘summer’	kaûma	‘heat’
mahina	‘month’	mḗn	‘moon’
kia	‘pillar’	kíōn	‘pillar’
hiki	‘come’	hikánō	‘arrive’